

審査結果

第50回

広報写真コンクール

「みんなに伝えたい 住みたいまち厚木」をテーマに作品を募集し、審査の結果、入選作品が決まりました。

☎広報課 ☎225-2040

■ 一般部門

応募数 110点



市長賞 「待ち望んだ鮎まつり」 町野正樹



神奈川新聞社賞 「雪遊び」 高梨雅史



観光協会賞

「大道芸クライマックス」 山本雄二

入選 関口通規、西山昌敏、内野秀明、大坪政文、飯田ひろか、戸塚正夫、伊藤和馬
審査員奨励賞 田中亮、杉原陽菜

● インスタグラム部門

応募数 442点



市長賞 井上友佳子
アカウント名「apphoto2012」

● 50周年記念部門

応募数 271点



全入選作品は市HPに掲載。一般部門の入選作品は、4月1日から本厚木駅前東口地下道に展示します。



市HPはこちら

入選 (アカウント名)

《インスタグラム部門》

「_____shine_x」「ko_____901」

「ai6kou11」「syojiku」

《50周年記念部門》

※インスタグラムで募集

「①ssrunrun」

「②minominto」「③ukiuki_walker」

「④ikeponjpn」「⑤toshiharu_kon」

(氏名・アカウント名は敬称略、順不同)

第51回広報写真コンクールは、7月頃に募集の案内を掲載する予定です。

自然歳時記

● ミソサザイ ●
ミソサザイ科

ミソサザイは、寒い時期「チャツ、チャツチャ」という地鳴きで鳴くが暖かな春になると大きな声でさえずる。体長11㎝ほどとても小さな鳥の代表／七沢、上流の石切り場付近で見つけた。 写真・文 / 吉田文雄



「ピーチーピルピルルーッ」と澄み切ったさえずりが聞こえてくる。ミソサザイは、日本の鳥の中ではクイタダキと同じくらい小さいが、鳴き声はとても大きい。

崖の隙間にあるミソサザイの使用後の巣を見たことがあるが、25㎝ほどの球形で、新鮮なコケ類で

覆われていた。あの小さな鳥がこんなに大量のコケ類を集め清潔で温かく、しかも安全で快適な巣を作ったことに驚いた。

最近、鳥が少なくなったという声をよく聞くようになった。人間も鳥もあらゆる生き物が共存できる地球であってほしい。

厚木市の人口
(3月1日現在)

🏠 世帯数

10万3551世帯 (前月比37世帯減)

👤 人口

22万3760人 (前月比189人減) 男11万5148人・女10万8612人